



第6回雪ん子列車'91は富山県立山阿へ。交流が深まります。

世界を知ると熊本が見えてくる その中からできる事を探していきたい

社会にモノが溢れ、本物の自然に触れる機会が少なくなった現代。そんな現状を打破しようと、熊本に新しいグループ「コミュニティ・ネットワーク協会」が若者たちの手で誕生しました。

今回お訪ねしたのは協会の専務理事を務める山口久臣さん。ジャンルにこだわらない活動の中から地域を引っ張るリーダーを育てようと、人と人のネットワークづくりを続ける山口さんにお話を伺いました。



これから遭遇する出来事を思って、胸躍る雪ん子列車内。



日本人が出来ることを探して開かれた第1回地球こどもサミットイン ジャパン 熊本交流会。

—— コミュニティ・ネットワーク協会 会発足のきっかけを教えてください。

山口 高校生の頃、仲間とゴミを散らさないモラルづくりを目指して清掃活動をしていました。卒業する時「せっかくなら集まったら何かを作ろう」と、昭和四十八年に「サークル友志灯」を結成。十八年間活動しました。また昭和六十年の国際青年年に、世界の問題を青年の力で解決しようと、「くまもと国際青年年をすすめる会」を作ったんです。しかし、一年でできるものじゃない。もっと実践力のある組織をと思い、二つを合併して去年の十月十八日にコミュニティ・ネットワーク協会を発足しました。小・中学生会員が百五十六人。一般ファミリー会員が約百二十人です。

—— 活動内容を教えてください。

山口 文化を中心に考える国際交流と自然の中の野外活動。この二つをテーマに生涯学習の推進をやっている。というのが我々のスローガンです。

国際交流では、佐賀にある「地

球市民の会」と提携して「日タイ

協力プロジェクト」「日韓交流カチガラス計画」などを進めています。例えばタイ東北部のクークヤオ中学校の子供たちに里親制度を設けています。一人につき日本円にして月々千円の学費を三年分送るんですよ。以前は学費が足りなくて辞めていた子供がこのプロジェクトによって今では一学年、二百人全員が卒業できるようになりました。現地に行ってみると、我々の社会は何と物に溢れているのかとショックを受けますね。ひるがえって彼らの心の何と豊かなことか。だから、援助する、という考えではなくギブ・アンド・テイクの気持ちです。我々は金を送る。その代わりに子供たちからは「私たちの文化を返す」と言われています。心と心で協力しあっているんですよ。

もう一つの柱は野外活動。子供たちを連れて夏は十泊ほどのキャンプ、冬は「雪ん子列車」を計画して雪を見に行きます。その他は地域づくりの研修会や自然保護の観察会に参加しています。

中から不思議に人を引っ張っていく力を持ったリーダーが育っているんです。世界中で起こっている問題、開発途上国での食糧、人権、衣料問題等に対して、変に暗く悩まず、どんな場所でも元気に行動をおこすリーダーを育成したい。育った人が何をやるかは本人が決めること。その時に手助けできるよう、人と付き合うことで視野を広げ、人と人のネットワークを熊本から世界中に広げていきたいですね。

どんな問題にも
明るく取り組める
リーダーを育てたい

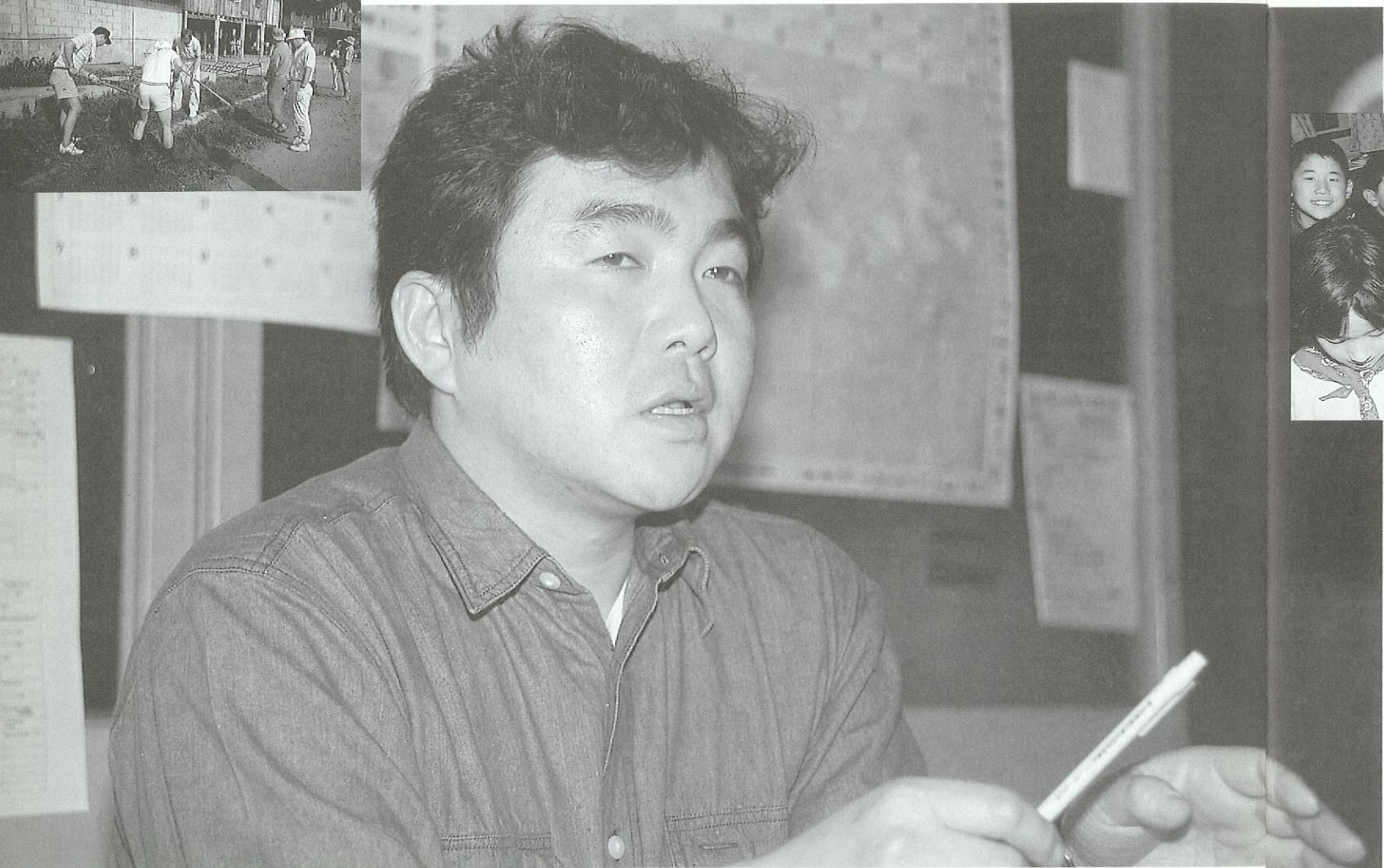
—— ずいぶん幅広く活動されているんですね。

山口 現在、国際交流や地域づくり、自然保護と、様々な団体がそれぞれのジャンルに分かれて活動していますよね。それだけに地域づくりはプロだけ地球環境問題に関しては全く分からん、ということも起きてきます。私は、世界に起こっている問題を一つのステージの上で考え、論じ、行動できるようにならなければと考えています。地域づくりというものは自分探したと思ふんです。海外に出た時、自分というものを持っていないと話にならない。自分とは、個人でもあり、住んでいる地域やその文化でもあると思います。それに誇りを持つことでしょうか。タイの子供たちは貧しくても、ちゃんと民族舞踏を継承していたりする。教えられることも少なくないんです。

—— これからの抱負を教えてください。

山口 活動が続ける中で一番の楽しみは、世界中に友達が増えることです。この協会は人づくりを目指す会でもあります。その方針は「明るく楽しく元気よく」。それも少しバカじゃないかと言われるくらいがちょうどいい。みんなで騒ぐ

この2月にもワット・サーキャオ孤児院での生活污水处理の実験事業のため訪タイ。



コミュニティ・ネットワーク協会の主な活動内容

- ①国際交流・国際協力
- ②地域づくり
- ③野外活動
- ④自然保護・環境保護
- ⑤レクリエーション
- ⑥ボランティア活動
- ⑦生涯学習活動
- ⑧青少年活動・教育
- ⑨文化活動
- ⑩地球共感教育(開発教育)

「日タイ協プロジェクト」

- ①里親方法による中学校・高校の奨学金の里親
中学生一人につき1,000円/月、3年
高校生一人につき1,500円/月、3年

②書き損じ葉書集め

書き損じの葉書は郵便局で一枚につき5円の手数料で新品、又は切手に交換できます。それを企業に買い取ってもらい現金化しプロジェクトに使います。

連絡先 熊本市横手4丁目16-29 2F

Tel: 096-322-8385